

主な意見等

審議会委員より頂戴した主な意見等を、審議会で予定していた以下の3つの議題ごとに分類し、一覧にしております。

【議題1】現行計画の成果等について

- インターネットを利用した遠隔授業の増加に伴う子どものサイバー犯罪被害が拡大傾向を踏まえた教育・啓発
- 自治会や防犯推進協議会などの地道な活動の成果として刑法犯認知件数の減少していること
- 各家庭における子どもへの教育・指導の取組の重要性
- コロナウイルス感染症（による社会生活様式の変化）を踏まえた計画策定、関連する特殊詐欺に対する被害防止のための啓発活動の強化
- 行政や地域支援などから外れた家庭への適切な対応の必要性
- 可視化されにくい親密空間での暴力等（DV、児童虐待など）への対策の必要性
- 交通事故防止のためバンプやロータリー交差点の導入を検討

【議題2】市民アンケート調査及び基礎調査の結果について

- 身近な犯罪（街頭犯罪、特殊詐欺など）、特に身体の安全に関する犯罪への対策や、犯罪ではない迷惑行為（深夜のコンビニ前での若者のたむろ、路上にて大声で喚くなど）をなくすことによる市民の体感治安の改善
- 性犯罪加害者（予備軍も含む）への対策の必要性
- 犯罪被害者支援に係る代表相談先の設置や京都市の支援策に関する京都府警との共有
- より多くの市民の目にとまるようにするために複数のツールを活用した周知啓発の実施
- あまり外出しない単身高齢者や高齢夫婦世帯への確実な情報提供の方法
- 家に引きこもりがちな単身高齢者への情報提供の方法
- 世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動の協定延長
- 老人福祉員を活用した単身高齢者への情報提供の強化
- 空き交番（警官不在交番）の解消のための相談員の配置

【議題3】次期基本計画に掲げる成果指標について

- 「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識の醸成や行政（区役所・警察署）と地域が一体となって取組を進めることの必要性
- 重点戦略3（新たな社会状況の変化に対応した取組の推進）に対応する成果指標
- 体感治安の数値が上昇しないことの要因分析
- 個別の罪種へのきめ細かな対応の必要性
- 防犯活動のアピールによる地域防犯力の向上（見せる防犯の拡大）
- 地域の企業・事業者を巻き込んだ防犯活動の実施
- 交番への過去1年間の交通事故件数と死亡者数の掲示（一昨年との比較も掲示）